



「進路を考える会」③保健師

中学部の「進路を考える会」も、早いもので3回目となりました。今回は、日本国内で保健師としてご活躍されていた先生をお招きし、「未来の自分を作る『選択』～15年後の自分を考えよう～」という演題でお話を伺いました。

講師の先生は、大学で看護を学ばれました。在学中、実際に小児科での実習に真剣に取り組む中で、憧れて思い描いていた仕事と、実際にやってみることとの違いを感じたそうです。そうした経験を経て、看護を学ぶ中で知った『保健師』という仕事の、病気の予防や地域で人を支える役割に惹かれ、保健師の道を選ばれました。その後、一度は社会人として保健師を経験されましたが、「より深い知識を得たい」という思いから大学院へ進学。修了後



に再び保健師の現場へ戻られたという、専門性を高めてこられた経歴をおもちです。

また、生徒たちにとって非常に新鮮だったのが、物事を見るための「3つの目」という視点です。先生はそれを、「虫の目（ミクロな視点）」、「鳥の目（マクロな視点）」、そして時代の流れや変化を捉える「魚の目」と表現されました。中でも特に大切なのが「魚の目」であり、ニュースや新聞、自分とは異なる

世代・職種の人などから幅広く情報を得ることが、この目を養うことにつながると教えていただきました。同時に、溢れる情報に流されないよう「自分の軸」を持つことの大切さも強調されていました。

講演の冒頭には「人生の選択の1つ1つに正解（があるわけ）ではない」というお話もありました。「もしあの時、違う道を選んでいたら……」と、自分が選ばなかった道が少し輝いて見えることもあります。それでも、そのとき自分なりに考えて選んだことや、そこで得た経験を否定する必要はない。選んだ道も、ちゃんと自分の道であるというお話は、大人の私にとっても深く腑に落ちる内容でした。

講演の翌朝、先生から「JSBの生徒は積極的に質問をしてくれて、非常に優秀ですね」と嬉しい感想をいただきました。お忙しい中、生徒たちの未来のために貴重なお話をしてくださった講師の先生に、心より感謝申し上げます。



フラッセル日本人学校理事会 新理事長さんのご紹介

9月4日（金）の運動会で一足先にご挨拶をいただきましたが、改めてこちら（写真）でご紹介いたします。本校の理事会は7月に新年度がスタートしており、今回の運動会が新体制となって初めての学校行事でした。理事長をはじめとする理事会の皆さまには、お仕事でお忙しい中、児童生徒たちを深く温かく見守り、学校運営を強力に支えていただいております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。



第3回 避難訓練（火災を想定）

9月10日(木)の4時間目に、理科室からの出火を想定した今年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は、「担任以外による授業途中で発災したケース」や「放送機器が作動せずハンドマイクで指示を出すケース」など、より実践的な状況を設定しました。子どもたちは非常にスムーズに行動でき、わずか2分程度でグラウンド北側へ素早く避難を完了しました。校舎内では、多くの児童生徒がしっかりとハンカチで口を押さえて移動できていました。一方で、一部の児童から「ハンドマイクの指示が正確に聞き取れなかった」という声もありました。事後の全体指導では、「正しい出火場所を把握しないと、かえって火元に向かってしまい危険であること」を改めて伝え、状況判断の大切さを学びました



「火災です！」緊迫の場面



煙から自分を守るハンカチ



人員確認は最も重要



訓練では振り返りも大切

気を付けて！（似ていますが、違います）



【写真②】

「月枯れ葉よ〜♪」という曲を聴くと、なぜだかフランスの凱旋門を思い出さずにはいられなくなります。気になって調べてみたところ、やはりシャンソンの名曲『枯葉』（原題: Les Feuilles Mortes）とのこと。「だからフランスを連想したのか」と一人で納得してしまいました。

実はここ最近、このフレーズが頭の中でずっと無限ループしています。心理学ではこれを「ディラン効果」と呼ぶそうですが、私の頭の中でループしている理由は明確です。いよいよベルギーに、あの「恐ろしい秋」がやってくるからです。なぜ恐ろしいのか。それは、私にとって「落ち葉との戦い」が始まるからです。

毎朝、子どもたちを美しい環境で迎えようと正門前を掃除しているのですが、普段は15分ほどで終わる掃除が、この季節だけはそうはいきません。一輪車を持っていても追いつかず、「おかわり」「さらにおかわり」と、3杯、4杯と山盛りになることさえあります。まさに体力勝負の季節です。

そんな落ち葉掃除の中にも、実は密かな楽しみがあります。それは「マロニエの実(トチの実)」拾いです。【写真①】を見てください。まるで栗のようですが、実はまったく別のものです。しかも**毒性がある**ため、口に入れることはできません。正門に入って左側にある木がマロニエの木【写真②】で、その「いが(外皮)」【写真③】も、栗のものとははっきりと形が違います。もしもお子さんが「栗を拾った!」と嬉しそうに持ち帰ってきたときは、それはマロニエの実かもしれませんので、十分にご注意ください。

実りの秋、子どもたちと安全に季節の移り変わりを楽しんでいきたいと思います。



【写真①】



【写真③】

先生だって勉強するよ



9月9日(水)の午後、打合せを終えた先生達が音楽室に集合。その目的は、定期的に講師を交代して実施している「職員研修」です。今回は「お箏(こと)」と「校歌」について、講師役の先生から指導を受けました。

左の写真は、先生たちが実際にお箏の演奏を体験している様子です。